



## 2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月10日

上場会社名 株式会社ソディック 上場取引所 東  
 コード番号 6143 URL https://www.sodick.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 健一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 前島 裕史 TEL 045-942-3111  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	18,828	2.4	2,093	△6.0	2,168	11.4	1,460	10.2
2018年12月期第1四半期	18,385	—	2,227	—	1,947	—	1,324	—

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 1,984百万円(—%) 2018年12月期第1四半期 7百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	31.09	26.69
2018年12月期第1四半期	28.20	24.21

当社は、2017年6月29日開催の第41回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、2017年度より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、2018年12月期第1四半期と比較対象となる2017年12月期第1四半期の期間が異なるため、2018年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	118,177	59,536	50.3	1,265.51
2018年12月期	119,082	58,129	48.7	1,235.46

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 59,444百万円 2018年12月期 58,033百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期については遡及適用後の数値を記載しています。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	12.00	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,000	△15.5	3,000	△43.2	2,500	△51.8	1,800	△51.1	38.32
通期	76,800	△7.2	6,900	△30.2	6,400	△33.5	4,700	△27.3	100.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	53,450,916株	2018年12月期	53,450,916株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	6,478,072株	2018年12月期	6,477,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	46,972,920株	2018年12月期 1 Q	46,971,710株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、足元では輸出や生産にやや弱さが見られるものの、雇用・所得環境や企業収益の改善等により、景気は緩やかな回復基調が継続しました。海外経済においては、米国経済は雇用環境の改善や堅調な個人消費もあり堅調に推移した一方で、欧州では輸出及び個人消費の減少により、景気の減速が継続しており、中国も米国との貿易摩擦の影響により輸出が鈍化するなど景気減速が継続しました。アジア経済については地域ごとに濃淡はありますが概ね横ばいに推移しました。しかしながら、米中の通商政策の影響、欧州の政治情勢、金融市場の変動などの懸念材料もあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような事業環境の中、当社グループでは、世界各地の展示会に出展しソディックブランドの強化に取り組みました。成長市場であるインドにおいては、1月に同国最大の工作機械展であるIMTEX 2019に出展し、販売拡大に向け当社製品群をアピールしたほか、3月に台湾にて開催された台北国際工作機械見本市(TIMTOS 2019)では、金属3Dプリンタの多様化するニーズに対応すべく高速造形を可能にした金属3Dプリンタ「LPM325」を展示するなど台湾でのシェア拡大に向け積極的な営業活動を展開しました。

営業体制の強化を進めており、シンガポールに金属3Dプリンタを活用した最先端ものづくりをサポートするテクノ・センターを設立しました。最先端技術による金型製作の受託加工、コンサルティング・販売サポート・保守サービスなど顧客のバックアップ体制を整え、シンガポール国内及びアジア地域における金属3Dプリンタの普及拡大を目指します。さらに、英国の営業拠点でもテクニカルセンターの機能を含めた新社屋の建設など、各地域での販売力の強化に努めています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高188億28百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業利益20億93百万円(前年同四半期比6.0%減)、経常利益21億68百万円(前年同四半期比11.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益14億60百万円(前年同四半期比10.2%増)となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
工作機械事業	13,366	13,362
産業機械事業	2,424	2,320
食品機械事業	1,005	1,776
その他	1,588	1,369
売上高 合計	18,385	18,828

[セグメント利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
工作機械事業	2,361	2,191
産業機械事業	148	80
食品機械事業	68	336
その他	308	△7
調整額	△660	△507
営業利益 合計	2,227	2,093

#### <工作機械事業>

当社の最大市場である中国では、米中貿易摩擦による投資判断の先送りなどにより、昨年秋口以降受注が減速していた影響で、販売は伸び悩みましたが、足元では5G対応に向けた設備投資含め、需要は総じて回復傾向にあります。北米の自動車関連では一部慎重さが見られましたが、航空宇宙及び医療関係が堅調だったほか、国内でも自動車関連での大口案件を含め、底堅く推移しました。また、その他アジア地域も、タイ、インド、ベトナム、マレーシアなどは自動車関連を中心に堅調に推移しました。一方で、欧州の自動車関連ではやや力強さを欠く結果となりました。

上記の結果、当事業の売上高は133億62百万円（前年同四半期比0.0%減）、セグメント利益は、工場の稼働率低下等により、21億91百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。

#### <産業機械事業>

コネクタやセンサー部品など自動車関連の需要は、国内を中心に引き続き堅調に推移しました。北米についても、医療機器関連を中心に堅調な需要が継続しました。スマートフォン関連は中国やアジア地域で依然として一服感が見られましたが、政府の景気対策効果や5G対応に向けたインフラ整備に関する需要が出始めています。

上記の結果、当事業の売上高は23億20百万円（前年同四半期比4.3%減）、セグメント利益は、研究開発費の増加等により、80百万円（前年同四半期比46.0%減）となりました。

#### <食品機械事業>

食品機械事業は、各種製麺機、麺製造プラント、包装米飯製造装置などの開発・製造・販売、その保守サービスを行っております。高品質な調理麺の製造設備需要が引き続き堅調に推移したほか、包装米飯製造装置の需要も国内外で増加しています。国内において、付加価値の高い製麺設備の販売が見られた結果、当事業の売上高は17億76百万円（前年同四半期比76.7%増）、セグメント利益は3億36百万円（前年同四半期比388.0%増）と高い収益性を確保しました。

#### <その他>

その他は、精密コネクタなどの受注生産を行う精密金型・精密成形事業、リニアモーターやセラミックス部材など独自の技術を活かした製品及びLED照明機器の開発・製造・販売を行う要素技術事業、放電加工機、マシニングセンタ及び射出成形機などのリース事業から構成されております。精密金型・精密成形事業は、自動車関連で一服感が見られたほか、セラミックスの販売も半導体製造装置向けが減速した結果、当事業の売上高は13億69百万円（前年同四半期比13.8%減）、セグメント損失は7百万円（前年同四半期はセグメント利益3億8百万円）となり、中長期的な成長に向けた研究開発及び設備への先行投資により収益性は悪化しました。

### (2) 財政状態に関する説明

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末と比較して、9億5百万円減少し、1,181億77百万円となりました。主な減少要因としては、その他の流動資産の減少13億42百万円、現金及び預金の減少13億17百万円などがあげられますが、受取手形及び売掛金の増加18億9百万円などにより一部相殺されております。

また、負債につきましては前連結会計年度末と比較して、23億12百万円減少し、586億40百万円となりました。主な減少要因としては、その他の流動負債の減少21億5百万円などがあげられます。

純資産につきましては前連結会計年度末と比較して、14億7百万円増加し、595億36百万円となりました。主な増加要因としては、利益剰余金の増加8億90百万円、為替換算調整勘定の増加5億23百万円などがあげられます。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については遡及適用後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,546	32,228
受取手形及び売掛金	14,972	16,782
電子記録債権	1,545	1,616
商品及び製品	9,774	8,991
仕掛品	8,661	8,526
原材料及び貯蔵品	8,809	8,640
その他	2,807	1,465
貸倒引当金	△171	△166
流動資産合計	79,946	78,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,262	26,968
機械装置及び運搬具	20,059	21,045
その他	13,216	13,496
減価償却累計額	△28,626	△29,545
有形固定資産合計	30,912	31,966
無形固定資産		
のれん	1,642	1,608
その他	902	911
無形固定資産合計	2,544	2,519
投資その他の資産		
その他	5,797	5,843
貸倒引当金	△117	△235
投資その他の資産合計	5,679	5,607
固定資産合計	39,136	40,094
資産合計	119,082	118,177

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,855	4,972
電子記録債務	5,969	5,196
短期借入金	4,106	4,113
1年内返済予定の長期借入金	7,777	7,748
未払法人税等	535	671
引当金	1,064	1,288
その他	7,496	5,390
流動負債合計	31,804	29,382
固定負債		
社債	7,981	7,981
長期借入金	19,659	19,631
引当金	301	264
退職給付に係る負債	609	702
資産除去債務	68	69
その他	528	610
固定負債合計	29,148	29,258
負債合計	60,953	58,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,785	20,785
資本剰余金	5,877	5,877
利益剰余金	32,823	33,713
自己株式	△4,698	△4,698
株主資本合計	54,788	55,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	967	1,025
為替換算調整勘定	2,513	3,037
退職給付に係る調整累計額	△236	△296
その他の包括利益累計額合計	3,244	3,766
非支配株主持分	96	92
純資産合計	58,129	59,536
負債純資産合計	119,082	118,177

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	18,385	18,828
売上原価	11,612	12,183
売上総利益	6,772	6,645
販売費及び一般管理費		
人件費	1,833	1,897
貸倒引当金繰入額	6	20
その他	2,704	2,634
販売費及び一般管理費合計	4,544	4,552
営業利益	2,227	2,093
営業外収益		
受取利息	56	57
受取配当金	3	103
為替差益	—	23
持分法による投資利益	8	—
助成金収入	69	69
その他	119	47
営業外収益合計	256	301
営業外費用		
支払利息	82	68
為替差損	427	—
持分法による投資損失	—	12
貸倒引当金繰入額	—	120
その他	27	24
営業外費用合計	537	226
経常利益	1,947	2,168
特別利益		
固定資産売却益	2	4
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産売却損	0	50
固定資産除却損	6	3
関係会社出資金評価損	—	52
その他	—	3
特別損失合計	6	108
税金等調整前四半期純利益	1,943	2,064
法人税、住民税及び事業税	533	497
法人税等調整額	83	106
法人税等合計	617	603
四半期純利益	1,325	1,461
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,324	1,460



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	1,325	1,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△141	58
為替換算調整勘定	△1,045	525
退職給付に係る調整額	△112	△60
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△0
その他の包括利益合計	△1,317	523
四半期包括利益	7	1,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9	1,981
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社ソディックエフ・ティを存続会社、株式会社ソディックLEDを消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2019年1月1日付で吸収合併いたしました。

これに伴い当第1四半期連結会計期間より、株式会社ソディックLEDを連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(譲渡制限付株式報酬制度の導入)

2019年2月14日開催の当社取締役会において、当社の取締役(社外取締役を除く。以下、「対象取締役」という。)が、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めることを目的とし、対象取締役に対し、譲渡制限付株式報酬制度を導入することを決議いたしました。

また当社は、2019年4月19日開催の当社取締役会において、自己株式の処分を行うことを決議し、2019年5月8日に払込が完了いたしました。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,366	2,424	1,005	16,796	1,588	18,385	—	18,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	17	—	42	857	899	△899	—
計	13,392	2,441	1,005	16,839	2,445	19,284	△899	18,385
セグメント利益	2,361	148	68	2,579	308	2,888	△660	2,227

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6億60百万円には、セグメント間取引消去△37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6億23百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,362	2,320	1,776	17,459	1,369	18,828	—	18,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	75	—	82	569	652	△652	—
計	13,369	2,396	1,776	17,542	1,939	19,481	△652	18,828
セグメント利益又は 損失(△)	2,191	80	336	2,608	△7	2,600	△507	2,093

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5億7百万円には、セグメント間取引消去66百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5億73百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。